

普及活動情勢報告（令和5年11月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

ユズ収穫の開始に向けて ～吉良川柚子部会販売会議（目慣らし会）～



張り出した出荷規格表

10月6日、J A高知県安芸支部吉良川支所柚子部会が販売会議を開催し、部会員45名の参加がありました。農業改良普及課室戸支所からは、生育概況、今後の栽培管理、脚立作業の安全対策等について説明しました。

農家から、酢玉出荷におけるミカンサビダニの虫害果の目安について質問があり、後日、J Aと連携してサンプル写真を掲載した出荷規格表を出荷場に貼りだしを行いました。

室戸支所では、引き続き栽培講習等で柚子栽培を支援します。

収量向上に向けた栽培管理の見直しの検討
～なはりの郷農業部門定例会～



視察の報告を行う
普及指導員

10月24日、なはりの郷の農業部門定例会が開催され、なはりの郷、役場、農業委員など9名が出席しました。

定例会では、事務局から農業部門の事業報告、農業改良普及課からは、なはりの郷や役場も同行したイチジクの先進地視察の報告と併せて栽培管理の見直しを提案しました。出席者は、視察先との栽培方法の違いを確認し、「かん水設備の検討が必要だ」「土壌改良を早急に行う必要がある」と意見が出され、早速、土壌改良に向けた取り組みが始まりました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携しながら、イチジクの収量・品質向上に向けて支援します。

S A W A C H I を使ってみませんか ～中芸地区野菜園芸研究会通常総会～



S A W A C H I の機能を
説明する普及指導員

10月25日に中芸地区園芸研究会通常総会が開催され、部員32人が参加しました。令和6園芸年度の事業計画にハウスの環境制御やS A W A C H I 加入推進が明記されました。

農業改良普及課は、S A W A C H I の基本的な機能や、グループを作れば環境データが共有できることを紹介しました。参加者からは、自分のスマートフォンでS A W A C H I 画面を見る仕草が見られたり、「収量がみられて便利」「グループでデータを見ながら話しあうのも楽しい」という声が聴かれました。

農業改良普及課は、今後もS A W A C H I での技術情報の提供を継続し、収量・品質の向上を支援します。

P C お竜の栽培ポイントを確認！ ～安芸支部ナス部会現地検討会・勉強会～



下位側枝の整理方法の
説明を受ける生産者

10月27日、安芸支部ナス部会は、現地検討会及び勉強会を開催し、生産者54人が参加しました。

現地検討会では、参加者から「P C お竜の下葉の摘葉タイミングは」、「かん水は毎日か」など栽培に関する質問が多く、参加者同士でも情報交換を行っていました。

勉強会では、ナスの品種動向や品種「P C お竜」の管理ポイントをJ Aが説明し、農業改良普及課からは、「P C お竜」の試験結果や主要害虫の生態等について説明しました。

農業改良普及課は、令和6園芸年度も引き続き関係機関と連携し、栽培技術の向上、ナスの生産安定に向けて支援します。

担い手の確保・育成に向けて ～ 安芸市指導農業士意見交換会 ～



意見交換する指導農業士
と普及指導員等

11月7日、産地主体で担い手の確保・育成に取り組み、今後も産地を維持拡大していけるよう、課題の共有や解決策を検討していくことを目的に安芸市指導農業士8名、安芸市担い手支援協議会8名が参加し意見交換会を初めて開催しました。

農業改良普及課からは産地提案型担い手確保の取り組みや研修チェックシートについて情報提供、問題提起を行いました。

指導農業士からは「担い手確保は入口だけではなく出口も重要」、「キャッシュフローなど経営面の支援も必要」といった発言があるなど、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も地域の指導農業士と連携し、効果的な担い手の確保・育成に取り組んでいきます。